

# 平成30年度食品表示に関する消費者意向 調査報告書の概要

令和元年7月

- 消費者庁では、消費者の食品表示制度に対する理解度等を調査するため、平成28年度から消費者意向調査を約1万人（国勢調査の性別、年代、地域の比率を考慮した満15歳以上の消費者）に対しW e b調査で実施。
  - 平成30年度のアンケート回収期間は、平成31年2月28日から3月5日まで。
  - 調査結果報告書は、令和元年5月31日、消費者庁W e bで公表。

## 平成30年度調査の内容

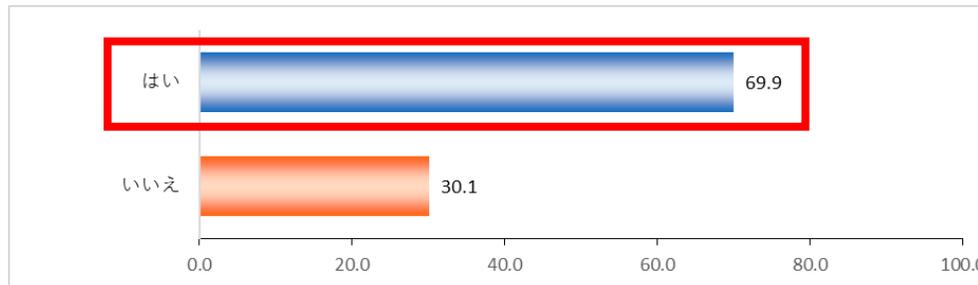
- 毎年度同様の設問で経年比較した調査（※平成29年度以降の調査に限る。）
  - 栄養表示、アレルギー表示、原材料・添加物表示、製造所固有記号等の理解・活用状況。
  - 新たな加工食品の原料原産地表示に対する認知度、理解度等。
  - 現行の食品表示に対する課題と要望。
- その年度のテーマを決めて行った調査
  - アレルギー表示の活用状況及び課題と要望。

○ 「あなたは「食品表示」がどのようなものか知っていますか。」との設問に対し、「はい」と答えた者のうち、食品表示の具体例を提示し、認識が一致していた者の割合を食品表示制度の認知度として算出。

- 知っていると回答した者69.9%のうち、認識が一致していた者は、95.4%。
- 食品表示制度の認知度は、 $69.9\% \times 95.4\%$ の66.7%。

※平成29年度調査の認知度は、61.9%

問「あなたは「食品表示」がどのようなものか知っていますか。」



	全体	男性								女性							
		男性計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	女性計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
n=	10000	4854	285	639	842	777	743	812	756	5146	271	622	822	767	753	1144	767
はい	69.9	64.5	68.8	57.7	57.0	59.7	63.5	71.1	75.8	75.1	66.1	60.6	68.7	68.8	81.0	83.5	84.6
いいえ	30.1	35.5	31.2	42.3	43.0	40.3	36.5	28.9	24.2	24.9	33.9	39.4	31.3	31.2	19.0	16.5	15.4

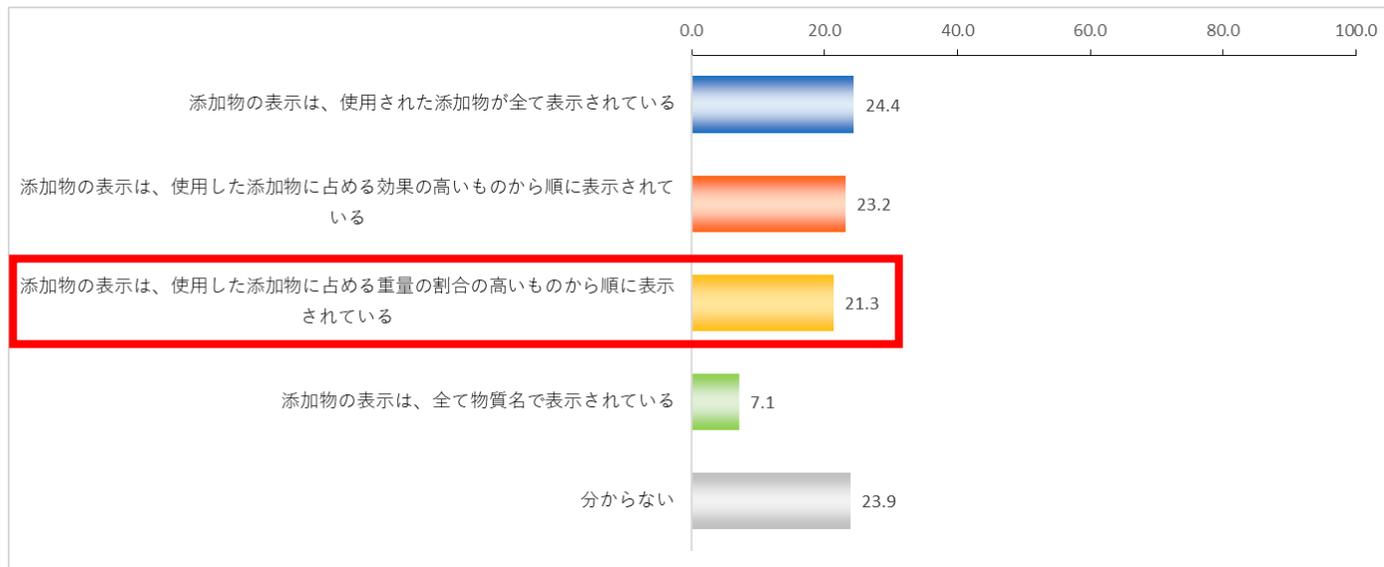
○ 添加物表示の理解度の目標値は46.5%。

- 食品表示制度を認知している者（66.7%）のうち、添加物表示を参考に行っている者の全体に対する割合（46.5%）を添加物の表示の理解度の目標値とする。

○ 「添加物」表示の説明について、正しい選択肢を選んだ者の割合は21.3%。

※平成29年度調査の目標値は、43.5%、正答率は、20.1%

問「「添加物表示」の説明について、あなたが正しいと思うものを1つお答えください。」



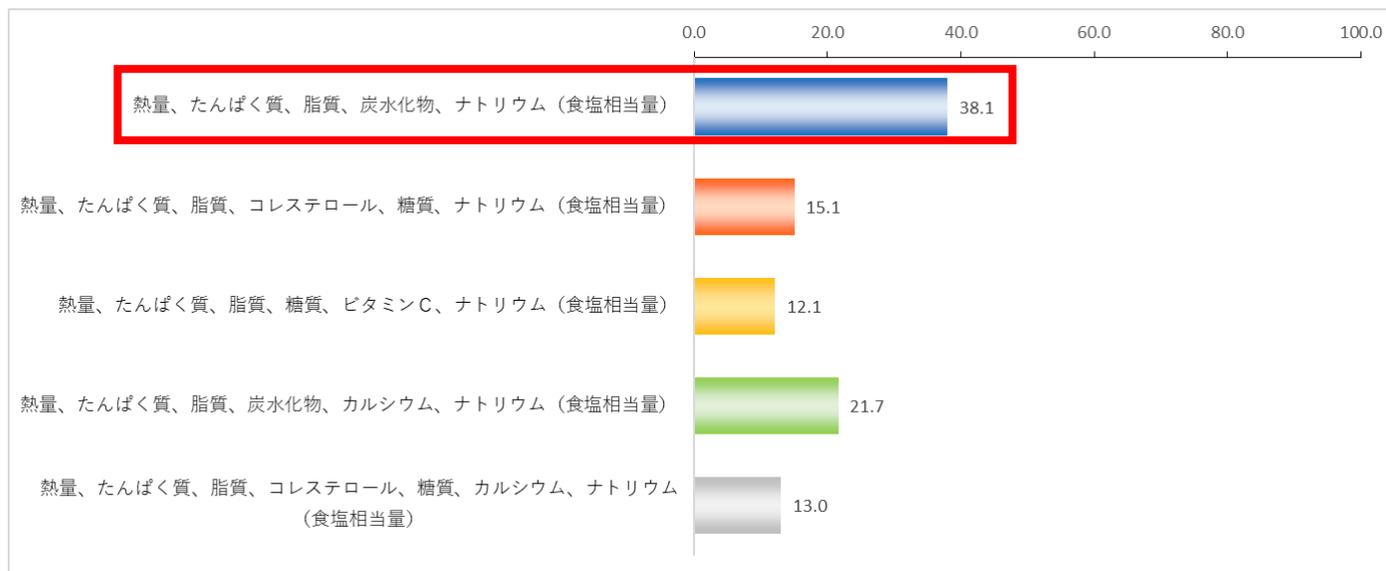
○ 栄養成分表示の理解度の目標値は38.7%。

- 食品表示制度を認知している者（66.7%）のうち、栄養成分表示を参考にしている者の全体に対する割合（38.7%）を栄養成分表示の理解度の目標値とする。

○ 「栄養成分表示」の説明について、正しい選択肢を選んだ者の割合は38.1%。

※平成29年度調査の目標値は、35.0%、正答率は、38.7%

問「一般消費者向けの加工食品への表示が義務付けられている栄養成分の量及び熱量（栄養成分表示）について、あなたが正しいと思う組合せをお答えください。（お答えは1つ）」



- 特定保健用食品（トクホ）の表示の理解度の目標値は42.6%。
  - 食品表示制度を認知している者（66.7%）のうち、特定保健用食品（トクホ）の表示を参考にしている者の全体に対する割合（42.6%）を特定保健用食品（トクホ）の理解度の目標値とする。
- 「特定保健用食品（トクホ）」の説明について、正しい選択肢を選んだ者の割合は34.7%。
  - ※平成29年度調査の目標値は、41.9%、正答率は、32.2%

問「「特定保健用食品（トクホ）」の説明について、あなたが正しいと思うものをお答えください。（お答えは1つ）」



○ 栄養機能食品の表示の理解度の目標値は44.8%。

- 食品表示制度を認知している者（66.7%）のうち、栄養機能食品の表示を参考にしていない者の全体に対する割合（44.8%）を栄養機能食品の理解度の目標値とする。

○ 「栄養機能食品」の説明について、正しい選択肢を選んだ者の割合は10.4%。

※平成29年度調査の目標値は、43.9%、正答率は、8.1%

問「「栄養機能食品」の説明について、あなたが正しいと思うものをお答えください。  
（お答えは1つ）」



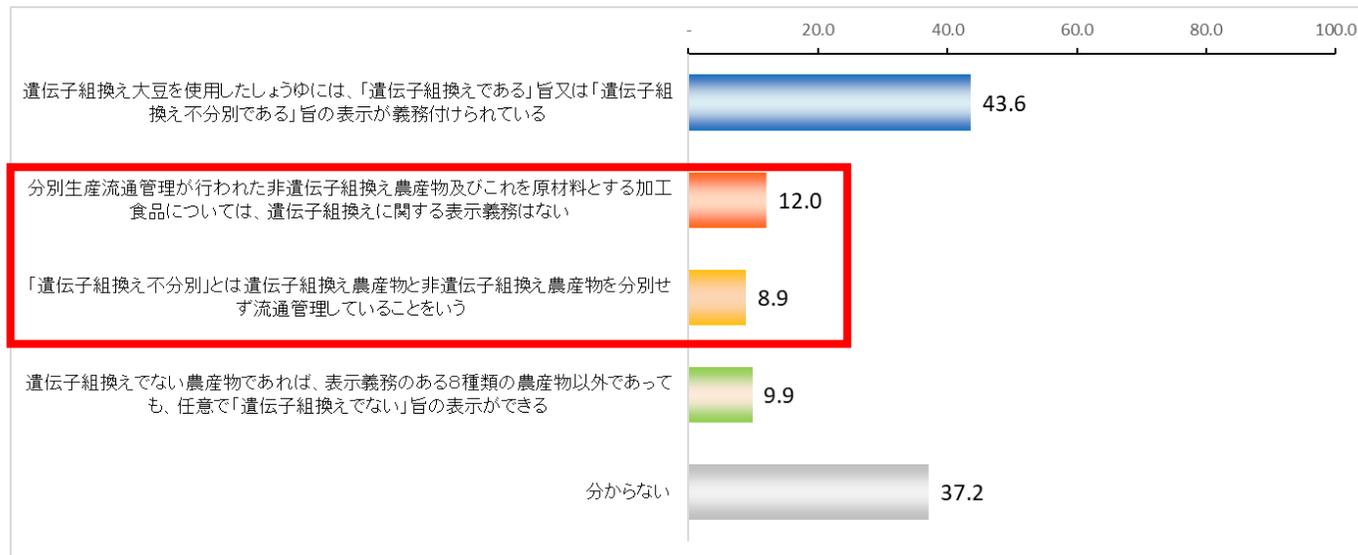
- 機能性表示食品の表示の理解度の目標値は42.0%。
  - 食品表示制度を認知している者（66.7%）のうち、機能性表示食品の表示を参考にしている者の全体に対する割合（42.0%）を機能性表示食品の理解度の目標値とする。
- 「機能性表示食品」の説明について、正しい選択肢を選んだ者の割合は16.9%。  
※平成29年度調査の目標値は、40.7%、正答率は、15.3%

問「「機能性表示食品」の説明について、あなたが正しいと思うものをお答えください。  
（お答えは1つ）」



- 遺伝子組換え食品の表示の理解度の目標値は35.3%。
  - 食品表示制度を認知している者（66.7%）のうち、遺伝子組換え食品の表示を参考にして  
いる者の全体に対する割合（35.3%）を遺伝子組換え食品の表示の理解度の目標値とする。
- 「遺伝子組換え食品」の表示の説明について、正しい選択肢を選んだ者の  
割合は12.0%と8.9%。  
※平成29年度調査の目標値は、32.5%、正答率は、9.8%と11.2%

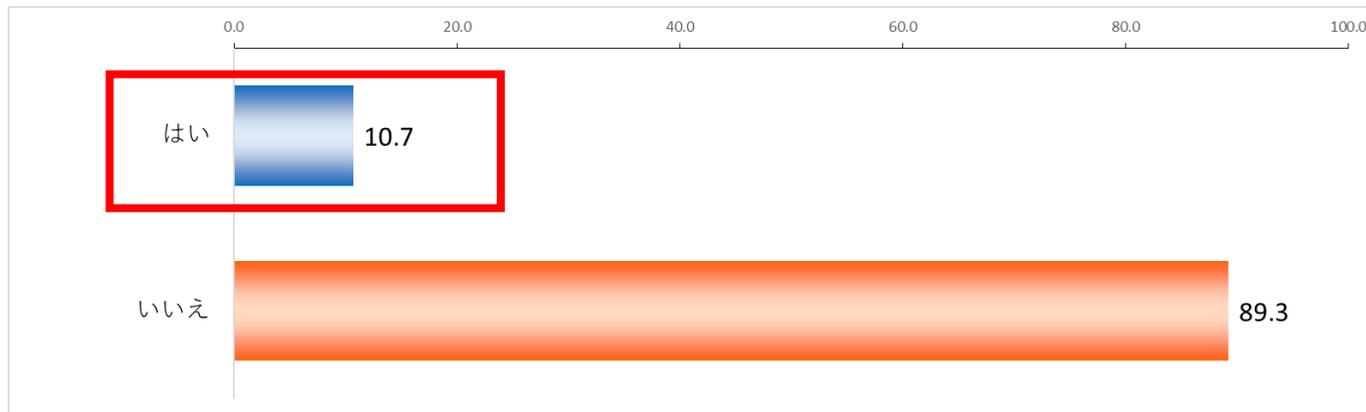
問「「遺伝子組換え食品」の表示説明について、あなたが正しいと思うものを全てお答えください。  
（お答えはいくつでも）」



○ 「あなたは平成29年9月1日から新たな加工食品の原料原産地表示制度が始まったことを知っていますか。」との設問に対し、「はい」と答えた者の割合は、10.7%。

※平成29年度調査の認知度は、9.2%

問「あなたは平成29年9月1日から新たな加工食品の原料原産地表示制度が始まったことを知っていますか。」



	全体	男性								女性							
		男性計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	女性計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
n=	10000	4854	285	639	842	777	743	812	756	5146	271	622	822	767	753	1144	767
はい	10.7	12.9	14.7	14.2	15.2	13.1	8.2	11.9	13.8	8.7	5.9	7.7	8.4	6.0	8.1	9.4	12.9
いいえ	89.3	87.1	85.3	85.8	84.8	86.9	91.8	88.1	86.2	91.3	94.1	92.3	91.6	94.0	91.9	90.6	87.1

- 新たな加工食品の原料原産地表示制度の理解度の目標値は53.2%。
  - 食品表示制度を認知している者（66.7%）のうち、原料原産地表示を参考にしている者の全体に対する割合（53.2%）を新たな加工食品の原料原産地表示制度の理解度の目標値とする。
- 新たな加工食品の原料原産地表示制度の対象となる加工食品について、正しい選択肢を選んだ者の割合は12.0%。  
※平成29年度調査の目標値は、50.4%、正答率は、11.5%

問「新たな加工食品の原料原産地表示制度の対象となる加工食品について、あなたが正しいと思うものをお答えください。（お答えは1つ）」



- 新たな加工食品の原料原産地表示制度の理解度の目標値は53.2%。
- 新たな加工食品の原料原産地表示制度で産地が表示される原材料について、正しい選択肢を選んだ者の割合は13.0%。

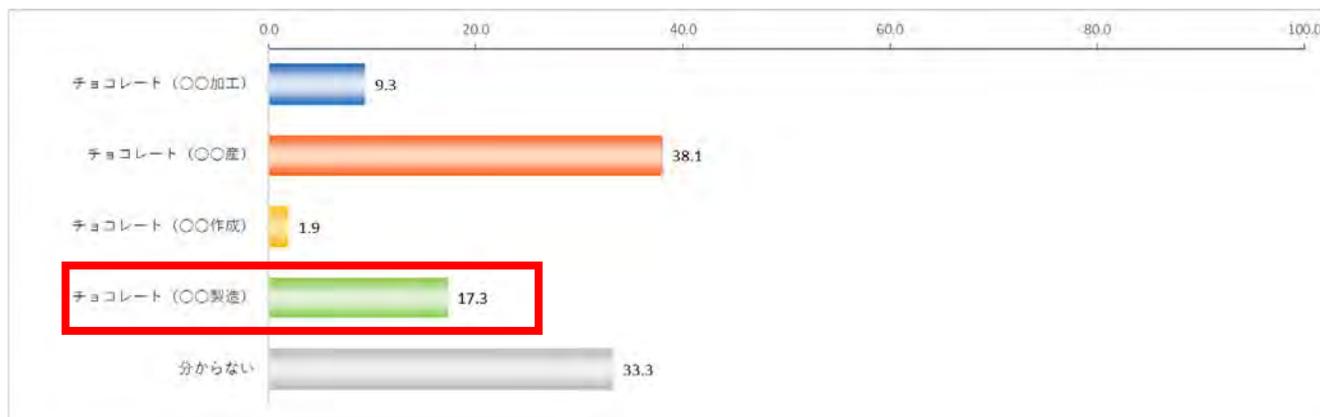
※平成29年度調査の目標値は、50.4%、正答率は、15.1%

問「新たな加工食品の原料原産地表示制度で産地が表示される原材料について、あなたが正しいと思うものをお答えください。（お答えは1つ）」



- 新たな加工食品の原料原産地表示制度の理解度の目標値は53.2%。
- 「製造地表示」について、正しい選択肢を選んだ者の割合は17.3%。  
※平成29年度調査の目標値は、50.4%、正答率は、16.4%

問「「製造地表示」について、あなたが正しいと思うものをお答えください。（お答えは1つ）」  
※選択肢内の”〇〇”には原産国名が入ります。



- 新たな加工食品の原料原産地表示制度の理解度の目標値は53.2%。
- 「又は表示」で当該原材料に使用されている可能性のある原産地の組合せについて、正しい選択肢を選んだ者の割合は12.6%。  
※平成29年度調査の目標値は、50.4%、正答率は、10.6%

問「又は表示」で（A国又はB国）と表示されている場合、当該原材料に使用されている可能性のある原産地の組合せについて、あなたが正しいと思うものをお答えください。（お答えは1つ）



- 新たな加工食品の原料原産地表示制度の理解度の目標値は53.2%。
- 「大括り表示」の意味について、正しい選択肢を選んだ者の割合は24.5%。  
※平成29年度調査の目標値は、50.4%、正答率は、35.5%

問「大括り表示」の意味について、あなたが正しいと思うものをお答えください。（お答えは1つ）



○ 消費者庁では、食品表示に関する理解度のKPIとして、目標値（食品表示制度を認知している者のうち、各項目を参考にしている者の全体に対する割合）に対する達成度を算出しており、平成29年度と平成30年度の比較は以下のとおり。なお、平成29年度と比べ、平成30年度調査では、食品表示制度の認知度が上昇（61.9%→66.7%）しており、そのため各項目の目標値も上昇している。

	添加物	栄養成分	特定保健用食品	栄養機能食品	機能性表示食品	遺伝子組換え食品①	遺伝子組換え食品②
平成29年度	20.1/43.5 (46.2%)	38.7/35.0 (111%)	32.2/41.9 (76.8%)	8.1/43.9 (18.5%)	15.3/40.7 (37.6%)	9.8/32.5 (30.2%)	11.2/32.5 (34.5%)
平成30年度	21.3/46.5 (45.8%)	38.1/38.7 (98.4%)	34.7/42.6 (81.5%)	10.4/44.8 (23.2%)	16.9/42.0 (40.2%)	12.0/35.3 (34.0%)	8.9/35.3 (25.2%)

原料原産地	対象品目	対象原材料	製造地表示	又は表示	大括り表示
平成29年度	11.5/50.4 (22.6%)	15.1/50.4 (30.0%)	16.4/50.4 (32.5%)	10.6/50.4 (21.0%)	35.5/50.4 (70.4%)
平成30年度	12.0/53.2 (22.6%)	13.0/53.2 (24.4%)	17.3/53.2 (32.5%)	12.6/53.2 (23.7%)	24.5/53.2 (46.1%)